

前田：都市変容の確率過程 議事録 2016/4/27

(メモ) $a_{ij}=a_{ji}$ の線形対称性の過程が成り立つ場合と、成り立たない事例。

土地の効用って何を表す。土地を、住宅として使おう、という時の効用。

敷地単位で考える。

E 小さい→q 大→安定

M は平均値。それが変数となって、F 関数を最小化する。その意味は？

C2 は選択肢+1,-1 の効用の差。それがデカイほど m が同じでも選択結果は極端になる。

選択肢は一樣でなければならない？ (選択肢固有の項)

(質疑)

福山：相互作用の種類もありそうだが (正と負)

前田： a_{ij}, b_{ij} の正負は定義してない。しかしそれによって c の値が変わってグラフかわる。

庄司：変容の課程というよりは、変容の結果としての最終的な均衡解を分析しているイメージ？

前田：そう。

庄司：時系列変化をもっと細かく見たいなら、進化ゲーム (集団ダイナミクス) のほうが筋がよさそう。

三木：具体的にどう式で書けるか。元の論文は？

前田：もともとの論文は、効用とかなしで、覚えてないけど…分散・共分散だけで判断。商業と住宅の相性の悪さをそれで表す。自分の研究でも、それが使えそうな気がするが、実際どうなるかはわからない。でもやってみないとただでまずはデータ作成。。

福山：どういうものが結果として出てくる？ここらへんにはこういったものが集中して、他では違うものが集中して、というのが出てくる？

前田：土地にインセンティブ与えた場合、与えなかった場合でこのぐらい変化がでますよ、というのが出てくる。

山本：都市のエネルギーを仮定して安定するという視点は面白かったが、さんざんたくさんの仮定をおいたわりに最後はグラフの概形だけで、筆者は何がしたかったのかわからない。

森田：どのくらいのタイムスケールで考えてるのかわからない。

前田：n が無限大の時、という話もあったが…細かい a_{ii} とかを無視するぐらいでかい空間スケール。東京 2 3 区？無限時間後？

前田：面白かったけど、生かせて言われたらかなりキツイ笑

前田：細かい土地利用の相互作用をだしたいなら、都心部のほうが顕われてそう。だが与えられたのは黒潮町。居住地選択と絡めていくしかない。

福山：歴史的には変化してきたわけだから、長期間で見れば結構サンプル数ありそう。

前田：2006 年以降の住宅地図しかない現状。

福山：変数が少なそうだから、その点では扱いやすくなるのではないかな。